

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表日: 令和5年3月10日

事業所名: ジュニアスペース・らいぶ守山

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			法令を順守し、十分なスペースを確保しています。児童が過ごしやすい環境を考え、個別対応や年齢に応じたスペースの使用を行っています。
	2 職員の配置数は適切であるか	3	3		法令で必要とされる加配数に加え、1名以上の児童指導員を加配しています。その日の児童の人数に合わせた配置人数にしています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		入口トイレ等基本バリアフリー設計となっています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2		定期的ミーティングを行い、コンサルタントとの研修を実施していますがパートナー職員の参画・情報の共有が課題です。ダブルワークで難しい場合もあります。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		1	今回のアンケートを基に職員間で話し合い計画に繋げていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		1	一年に一度必ず公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	1	以後検討致します。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		社内研修を定期的実施している他、自立支援協議会ははじめ、外部研修の機会も確保し、資質の向上を目指しています。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		保護者様からのアンケートやご意見を伺い、ミーティングなどで職員間で情報を共有し、個別支援計画に反映しています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		誰もが確認できるように、アセスメントシートに記載しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	3		他事業所も含め、社員全員でプログラムを共有しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		毎月活動予定を計画しマンネリ化しないように考えています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	4		休日(土・祝)、長期休暇など、イベントを実施し児童が楽しめるものを考え支援に繋げていきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		個別に考え、児童一人一人の計画書を作成しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	2	2	支援前に朝礼を行い、その日来所の不穏児童や支援内容についての対策や声掛けについて情報共有していますが、役割分担が上手くいかない時もあります。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	16	支援終了後には職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	2	3	1	次回支援までには共有していますが、次の支援に上手く繋がられていない場合があります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2		その日のうちに、児童の様子を書き込み記録をとっています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	3		定期的にモニタリングを行い計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	3		ガイドラインの基本活動が入っているか見直し、組み合わせています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			管理者、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1		学校によっては協力体制にバラつきがあり、情報が分からず苦勞する場合があります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		6		医療的ケアが必要な児童はいませんが、個別の緊急対応については保護者様と情報共有を行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	5		保護者様を通じて情報共有していますが、コロナ禍のため直接の対応には努められていません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5		必要となった場合、保護者様の了解を得て、適切に対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		自立支援協議会や虐待防止研修他、可能な限り外部研修に参加しています。不明な点は電話等で連携を取っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	4	現在のところそういった機会はありません。今後コロナウイルス終息次第実施したいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	1	可能な限り参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			日々の支援内容等については、送迎時に保護者様に伝えるようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4		柔軟な対応が必要となりますので、保護者様の話を傾聴した上で、慎重に行っています。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に説明を行っています。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			その都度、保護者様の相談に寄り添っています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	2	現在は感染拡大防止対策として、三密を発生しうる場面は避けています。コロナ禍が終息後、改めて検討していきます。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情やお話があった際には、職員間で情報を共有して話し合い、敏速に保護者様に連絡を行い適切に対応していきます。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2		毎月の行事予定(プログラム)は保護者様に発信しています。
	35 個人情報に十分注意しているか	6			鍵付きの書庫に保管し個人情報については十分に注意しています。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			言葉遣いには十分に配慮していきます。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	1	十分に実施できていない時があります。今後の改善していきます。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		1	契約時に保護者様には説明を行い、職員間ではミーティングなどの機会に共有しています。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			年に2回行っています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		年に1回の研修を受け、職員にフィードバックを行っています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3		どんな場合でも、身体の拘束は行ってはならないと考え、遵守しています。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			アレルギーの児童の保護者様から伺い、適宜対策を講じていきます。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	3	1	ヒヤリハットの事例についてマニュアルを作成しています。